



## 今、できることは！

新年を迎えたと思ったら、あっという間に1ヶ月が過ぎようとしています。

3年生は、3学期になってから私立高校の入試と発表が毎日のようにあり、まさに受験シーズンの真っ只中にあります。20日(金)、23日(月)には中学校最後の期末テストも実施されました。この後、今週実施される県立高校Ⅰ期選抜、3月のⅡ期選抜と続くこととなります。全員が目標を達成し、義務教育9カ年の「有終の美」を飾るよう願っています。中学校生活も残り1ヶ月半となりましたが、今できることを精一杯頑張りたいと思います。

1, 2年生にとっては、学年のまとめをして進級に備える時期となりました。何よりも大切なことは、現学年の学習内容を確実に自分のものにしておくことです。今まで以上に学習や部活動に頑張ることができる、頼もしい上級生になってほしいと思います。



## 修学旅行の準備が始まりました！

### 2学年

2学年は、新年度に入っただけで修学旅行が実施されます。そのための準備や事前指導が本格的に始まりました。



鎌倉や横浜、東京都内での活動となりますが、班別研修では事前の計画が重要となってきます。班ごとにコースや施設について調べるなど、知恵を出し合いながら楽しく活動しています。中学校生活の中でも、一番大きな行事であり、たくさんのお話を学び、そしてたくさんのお話を聞けるよう準備してほしいと思います。

## 《二中学生の活躍》

- 県南学校春季柔道大会  
中学校男子団体 優勝
- 福島県中学生柔道錬成大会  
優秀選手賞 大河原 涼
- 岩瀬支部中学生バレーボール冬季大会  
3位
- 県中ジュニアバドミントン大会  
男子ダブルス ブロック2位 板谷 尊・鈴木一徳  
女子シングル ブロック1位 菅原 藍  
女子シングル ブロック1位 上田 彩乃  
女子シングル ブロック1位 角田陽真里  
女子シングル ブロック2位 矢吹 美空
- 新春書道展席書大会  
市議会議長賞 大山奈々花(1年)  
岩瀬書芸連盟会長賞 橋本 優希(3年)  
市文化団体連絡協議会長賞 野中 美月(1年)



## 生徒会・児童会交流会を実施！

13日(金)の午後3時から、須賀川二小において小中一貫事業「生徒会・児童会交流会」を開催しました。初めての試みでしたが、生徒・児童の自由な発想からさまざまなアイデアが発表され、充実した交流会となりました。



※出された主な意見

- 小学校同士での交流
- 部活動や学習面での交流
- ボランティア活動、エコキャップ活動での交流
- 中学校の活動(あいさつ運動・ACEプロジェクトの取り組み)

今後も、積極的に交流活動を図っていききたいと思います。



## 「中学校生活を聞く会」を実施！

20日（金）の午後に、小中一貫教育に関わる「中学校生活を聞く会」を実施しました。本校から、生徒会役員と生徒指導担当が、小学校3校（須賀川二小、阿武隈小、柏城小）に向き、中学校生活についての話を各校の6年生を対象に話してきました。

各校とも、真剣な態度で話を聞き、質問なども多く出されました。中学校生活への希望を胸に入学を迎えてほしいと思います。



## ★雑学です！（初詣から）

新しい年を迎え、正月には神社に行き初詣をした人は、多いと思います。日本人の生活の中には、さまざまな宗教習慣が浸透していて、その中でも神道は日本独特のものであります。神社にお参りするときに、手を打つのはどんな意味があるのでしょうか。

これは、自分が素手であること、何の下心もないことを神様に証明するためのものなのです。

一般的には「2礼、2拍手、一礼」と言われるように、2回礼をして2回手を打ち、その間にお祈り事をし、1礼をする方法です。例外もあり、伊勢神宮では4回礼をして4回手を打ち、最後にもう1度4回手を打つやり方があります。



世の中が便利になり、さまざまな情報がすぐに手に入るようになりました。そのためか、人はすぐに結果を求めたがる傾向が強くなったような気がします。努力したり、我慢したりしての結果であればいいのですが、安易に結果だけを求めていると、いざというときの困難に打ち勝つことが難しくなります。心の持ち方を考えていきたいものです。

機関誌「PHP」からの一篇を紹介いたします。

### 忍耐の徳

何事においても辛抱強さというものが大事だが、近頃はどうもこの忍耐の美徳というものがおろそかにされがちで、ちょっとした困難にもすぐに参って悲鳴をあげがちである。そして、事志とちがった時には、それをこらえてさらに精進し、さらに力を蓄えるという気迫がまるで乏しくなり、そのことの責任はすべて他にありとして、もっぱら人をののしり、社会を責める。

これは例えば、商売で品物が売れないのは、すべて世間が悪いからだと言うのと同じことで、これでは世間は誰も相手にしてくれないであろう。買うに足る品物であり、買って気持ちのよいサービスでなければ、人は誰も買わないのである。

だから売れなければまず自らを反省し、じっと辛抱をしてさらに精進を続け、人々に喜んで買っていただけるだけの實力というものを、養わなければならないのである。

車の心棒が弱ければ、すぐに折れてガタガタになる。人間も辛抱がなければ、すぐに悲鳴をあげてグラグラになる。

お互いに忍耐を一つの美徳として、辛抱強い働きを続けていきたいものである。

## ☆☆☆ ころろの窓 ☆☆☆